

平成 29 年度市長とのタウンミーティング要旨

日時	平成 29 年 11 月 18 日 15:00～16:30	会場	コミュニティセンター多目的ホール	来場者数	41 人
----	----------------------------------	----	------------------	------	------

◆意見交換の概要

テーマ「新庁舎整備基本計画（案）」について	
市民の意見・質問	市の回答
駐車場が原則有料化されることについて、無料時間の設定はあるか。	現時点では料金体系は未定だが、シティプラザなど他の公共施設駐車場の料金体系を踏まえて、検討を進める。
概算事業費の財源構成において、地方債はどのくらいあるのか。	地方債は約 51 億円を予定しており、このうち約 8 億 5 千万円は交付税措置されることを見込んでいる。
和泉市の負担を減らすために、国からの補助金を更に獲得する方法はないか。	庁舎整備に関する国の補助は極めて限定的で、事業費の殆どは、市が単独で担うことになる。平成 32 年度末までの期限付きではあるが起債額の一部が交付税として措置される「市町村役場機能緊急保全事業債」の活用を見込んでいる。 今後も他の補助制度等も確認しながら市の負担を軽減できるようにしたい。
工事中、交通上の問題などあれば相談できる窓口を設けてほしい。	庁舎が完成するまでは新庁舎担当部署があるので、担当部署できめ細やかに対応するよう進めていく。

テーマ「教育・子育て」について	
市民の意見	市長の考え
町内で、子どもたちの声がうるさいとの意見がある。また団地の棟の間の通路で原則禁止なのだが、子どもたちがボール遊びをしている。昔は学校で遊ぶことができたが、今はできない。開放していくべきでは。	実施する場合、学校に侵入する不審者対策などセキュリティ対策が必要だが、教師にこれ以上の業務を担わせるのは困難。
大きな公園は子どもだけで行かせられない。小さな公園はもっと小さな子どもが遊んでいて、小学生が遊べるような場所がない。しかし市長の指摘の通り管理の問題がある。町	

<p>会や老人会で見守りを行うような方法が考えられるが、責任をその人に負わせることのないように考える必要があり、様々な課題があるので整理していく必要がある。</p>	
<p>子どもの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について、市の対策は。</p>	<p>SNS を介したいじめなどは、目に見えないいじめで、スマートフォンを取り上げたり、調査・通信制限を施すことはできない。啓発を引き続き進めていく。</p>
<p>子どもの発熱や急病への対応について、市の対応はどうなっているか。</p>	<p>10年ほど前から泉州地域で小児救急の輪番制度により組んでいて、和泉市立病院は火曜日に対応している。</p>
<p>和泉市で出産・子育てしようという人が増える施策をとることで待機児童も増える。中部・北西部に各1園作ると言うが、既存の保育園受入れを増やす対応は検討できないか。</p>	<p>今も実施しているが、限界があり、敷地や面積規模の問題がある。</p>
<p>待機児童ゼロをめざすというがその時期は。</p>	<p>時期についてはわからない。 対象となる子どもの何%が入れられるようになれば充足するのか。親が家庭内保育を選択するのか、幼稚園を選択するのかでも異なる。また、将来的にこどもは減る。建物を大きくして、人も増やして定員を増やして、今は良くて将来的に厳しくなることもあるので、長期的に考えていく必要がある。</p>
<p>子ども・子育て会議で中長期的な施策について、公立保育園10園から2園、幼稚園4園から1園に減らし、認定こども園化を1園にするということで、子育ての場を減らすことになっているが、子育て世代は戸惑っている。今すぐ決めないといけないということはないと思う。とんとん拍子で話が進んでいる。 私たちが安心して子育てしていける和泉市にしてもらえるのか。</p>	<p>じっくりとやっていきたいと考えている。方向性は出すが強引に進める考えはない。公立の必要性は認識するが、様々な施設の更新が今後必要となる中、民間で運営できるものもある。 民間だから悪いと言うものではない。公立ではコストが高いこともある。こども一人に必要な運営コストは年間約120万円だが民間ではその3分の1程度。 しかし利用者や関係者の意見を無視することはない。必要な時間は十分にかけていきたい。</p>
<p>タウンミーティングの開催を回覧板で知ったが、子育て世代の参加を促すための情報発信をどのように行ったのか。</p>	<p>（事務局） 地域教育協議会での情報発信と、回覧板、市ホームページ、広報いずみで案内している。</p>